

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1222号	氏名	阿比留 一
論文審査担当者		主査教授	上谷 雅孝
		副査教授	河野 茂
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>胸部単純X線写真は日常臨床で最も頻繁に行われる検査でありながら、日本人における正常構造の所見に関する研究はほとんどなく、これまでに報告されている諸外国の研究も古いものが多い。正常構造の所見を理解することは、異常の検出および評価に必要不可欠である。本研究は、日本人における胸部単純X線写真について正常構造物の所見および描出率を明確にしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ある一定期間に撮像された1000名の正常胸部単純X線写真を2名の放射線科専門医が読影を行い、2名の同意の上で検討項目の評価を行っており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で読影を行った結果、種々の正常構造物における所見のバリエーションと頻度、諸外国の研究結果との差異が明らかとなった。日本人における胸部単純X線写真の正常構造の所見を熟知することで、異常の検出および評価がより正確になることが期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は日常臨床における胸部単純X線写真の読影能向上に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			